

第6学年 単元別学習内容一覧

◎ わくわく算数学習					指導時数・時期
目標					指導時数・時期
○ 割合の和や差を考える学習について、図、式、ことばなどを関連づけて考えたり筋道立てて説明しあつたりすることを通して割合についての理解を深めるとともに、学びを深めあう算数学習の進め方のよさに気づき今後の学習にいかそうとする態度を養う。					1時間 2学期制：4月上旬 3学期制：4月上旬
評価					
(知)・算数学習を進める手順や、ことばや図や式などを用いて考え、説明する仕方を知る。また、話し合いのよさなどを理解し、それらに必要な事柄を取り上げることができる。 (思)・図、式、ことばなどを関連づけて考えたり、わかりやすく筋道立てて説明したりすることができる。 (態)・学習の進め方に関心をもち、話しあい活動や発表に進んで取り組もうとする。学習を進める手順や話し合いの仕方などを知り、これから学習にいかそうとする。					
小単元	時	ページ	目標	学習内容	おもな評価規準
(課題設定)	1	6~9	○割合の増減から何倍になるかを考える学習を通して、自分で考えるときの方法や説明の仕方、話し合いのやり方等算数学習の進め方を知る。 ○自分で考え、みんなで話し合う算数学習の進め方のよさに気づく。	・割合の和や差を考えて解く問題(第2, 3用法) ・学習の進め方、ノートのかき方	(思)割合の増減を図に表して求め方を考えたり、ことばや図などを用いてわかりやすく順序立てて説明したりしている。《発言・観察》 (態度)学習を進める手順や話し合いの仕方などを知り、これから学習にいかそうとする。《ノート》

1 対称な図形					指導時数・時期
目標					指導時数・時期
○ 図形の対称性について、図形を折り重ねたり回したりする活動を通して線対称や点対称の意味を理解し、対称な図形の性質や作図の仕方を考えたり多角形の対称性を調べたりすることを通して、平面図形の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。					9時間 2学期制：4月上旬～4月下旬 3学期制：4月上旬～4月下旬
評価					
(知)・対称の軸や対称の中心、対応する点や直線の意味を理解することができる。また、操作活動を通して、線対称・点対称な形を理解し、作図することができる。 (思)・対称性に着目して、正多角形を考察し、対称の軸の数、対称の中心を明らかにすることができる。 (態)・日常生活の中には、美しい形、整った形があることに関心をもち、図形の対称性に着目しながら意欲的に調べようとする。					
小単元	時	ページ	目標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	—	250	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「合同な図形」	
(課題設定)	1	10~13	○身のまわりの整った形の特徴に気づき、対称性について調べていくという単元の課題をつかむ。	・対称性の観点からの弁別と学習の動機づけ	(態度)対称性に気づき、2つに折ったり回したりしてぴったり重なるかどうかを調べようとしている。《観察・発言》
①線対称	2	14~15	○線対称の意味を理解し、対称の軸で折り重ねたときに重なる点や直線を調べる。	・線対称な図形の定義、点、線、角の対応 ・身のまわりの線対称な形 《線対称、対称の軸》	(知)線対称の意味を理解し、対応する点、線、角を見つけることができる。《発言・ノート》 (思)線対称の意味にもとづいて、線対称かどうかを考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	3	16	○対称の軸に着目し、線対称な図形の性質を調べる。	・線対称な図形の性質	(思)対称の軸に着目して、線対称な図形の性質を見いだしている。《発言・観察》
②点対称	4	17	○線対称な図形の性質を用いて、線対称な図形をかくことができる。 ○点対称の意味を理解し、対称の中心で回して重ねたときに重なる点や直線を調べる。	・線対称な図形の作図	(知)線対称な図形を作図することができる。《観察・ノート》
	5	18~19		・点対称な図形の定義、点、線、角の対応 ・身のまわりの点対称な形 《点対称、対称の中心》	(知)点対称の意味を理解し、対応する点、線、角を見つけることができる。《発言・ノート》 (思)点対称の意味にもとづいて、点対称かどうかを考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
③多角形と対称	6	20	○対称の中心に着目し、点対称な図形の性質を調べる。	・点対称な図形の性質	(思)対称の中心に着目して、点対称な図形の性質を見いだしている。《発言・観察》
	7	21	○点対称な図形の性質を用いて、点対称な図形をかくことができる。	・点対称な図形の作図	(知)点対称な図形を作図することができる。《観察・ノート》
学びのまとめ	8	22~23	○対称性の観点から既習の図形をとらえ直し、対称の軸の数、対称の中心を見つけることができる。	・いろいろな三角形や四角形の対称性 ・正多角形の対称性	(態度)既習の図形の対称性に関心をもち、進んで調べようとしている。《発言・観察》 (知)線対称や点対称かどうかを判断したり、対称の軸や中心を見つけたりすることができる。《発言・ノート》
	9	24~25	○学習内容の理解を確認する。	・評価とふりかえり、活用問題	

2 文字と式

目標					指導時数・時期
○ 数量やその関係について、 x や y を使って式に表したり文字式の意味を具体に即して考えたりすることを通して、文字を使った式の理解や対応する値を求めるようになるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。					7時間 2学期制：4月下旬～5月中旬 3学期制：4月下旬～5月中旬
評価					
(知) ○や△などの代わりに x などの文字を用いることを理解し、文字を使って数量やその関係を式に表したり、文字に数をあてはめて x などの値を求めたりすることができる。 (思) 文字を使って表された式の意味を考察し、具体に即していろいろによみとることができる。 (態) 文字を使うよさがわかり、数量やその関係を進んで文字を使った式で表そうとする。					
小単元	時	ページ	目標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	一	250	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「変わり方」	
(課題設定)	1	26	○既習の○や△の代わりに x や y などの文字が使えることを知り、単元の課題をつかむ。 ○ x や y を使って式に表したり、 x や y の値を求めたりすることができる。	・文字を使うことの意味と学習の動機づけ ・ x や y を使って数量やその関係を式に表すこと、 x や y に数をあてはめて調べること 《 x の値、 y の値》	(態度)既習の○や△を使った式をもとに、 x や y を用いて数量やその関係を式に表そうとしている。《ノート・発言》 (知技) x や y に数をあてはめて、それに対応する x や y の値を求めることができる。《ノート》
①文字を使った式	27～28				
	2	29	○ x や y を使ってやや複雑な数量の関係を式に表し、 x の値に対応する y の値を求めることができる。	・やや複雑な数量の関係 ($y=ax+b$)について文字を使った式を用いて調べること	(知技) x や y を用いて数量やその関係を式に表し、 x と y の対応する値を求めることができる。《ノート・発言》
	3	30	○ x や y を使って数量の関係を式に表し、 x の値が小数の場合の y の値を求めることができる。	・文字を使った式に小数をあてはめて調べること	(知技) x や y を用いて数量やその関係を式に表し、 x の値が小数のときにもそれに対応する y の値を求めることができる。《観察・ノート》
●練習	4	31	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
②式のよみ方	5	32	○ある数量を x としてつくった式から具体的な事象をよみとることができる。	・文字を使った式から、具体的な事象をよみよること	(思判表)文字や演算の意味をもとに、 x の式で表される数量について考えたり説明したりしている。《観察・ノート》
	6	33	○図形の面積を求めるのにある数量を a としたときの式から、面積をどのように考えて求めたかをよみとることができる。	・文字を使った式から、式の意味をいろいろ考察すること (三角形、台形の面積)	(思判表) a を使って面積を表した式から、面積の求め方を図と関連づけて考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
学びのまとめ	7	34～35	○学習内容の理解を確認する。	・評価とふりかえり、活用問題	

3 分数×整数、分数÷整数

目標					指導時数・時期
○ 分数と整数の乗除について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して、分数と整数の乗除計算できるようになるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算の仕方を理解し、計算することができる。					2時間 2学期制：5月中旬 3学期制：5月中旬
評価					
(知) 分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算ができる。 (思) 分数の意味をもとに、分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算の仕方を考えることができる。 (態) 分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算に進んで取り組もうとしている。					
小単元	時	ページ	目標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	一	251	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「分数」	
(課題設定)	1	36	○既習の計算をもとに(分数)×(整数)を立式し、単元の課題をつかむ。 ○(分数)×(整数)の計算の仕方を考えることができる。	・分数×整数の立式と学習の動機づけ ・分数×整数の計算の仕方、途中で約分すること	(態度)(分数)×(整数)の計算の仕方を、分数の意味や図から考えようとしている。《発言・観察》 (知技)(分数)×(整数)の計算をすることができる。《ノート》
		37			
	2	38～39	○(分数)÷(整数)を立式し、その計算の仕方を考えることができる。	・分数÷整数の立式とその計算の仕方	(思判表)(分数)÷(整数)の計算の仕方を、分数の意味や図から考えたり説明したりしている。《発言・観察》 (知技)(分数)÷(整数)の計算をすることができる。《ノート》

* 復習

小単元	時	ページ	目標	学習内容	おもな評価規準
	1	40～41	○既習事項の確認と持続	・復習	

4 分数×分数

目標	指導時数・時期
----	---------

<p>○ 分数をかける計算や逆数について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して分数のかけ算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>評価</p> <p>(知)・分数をかける計算の意味を十分に理解し、計算することができる。また、逆数の意味や分数の計算においても交換法則や結合法則、分配法則が成り立つことを知る。</p> <p>(思)・分数の意味分数に分数をかける計算の意味や仕方を、筋道立てて考えることができる。</p> <p>(態)・分数に分数をかける計算に進んで取り組もうとしている。また、分数のかけ算を活用して、いろいろな問題を解決しようとする。</p>					13時間 2学期制：5月中旬～6月上旬 3学期制：5月中旬～6月上旬
<p>(課題設定)</p> <p>①分数をかける計算</p>					
<p>小単元</p>					
<p>じゅんび</p>					
1	251	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「小数のかけ算」「分数」 ・6年「分数×整数、分数÷整数」		
①分数をかける計算	1	42	○分数をかけるかけ算について考えていくという単元の課題をつかむ。 ○(分数)×(単位分数)の場面を式に表し、乗法の意味について考え、理解することができる。	・既習のふりかえりと分数をかける学習の動機づけ ・(分数)×(単位分数)の立式とその根拠	(態度)小数をかける計算と同じように、分数をかける式の意味を考えようとしている。《発言・観察》 (思判表)図を用いるなどして数量の関係に着目し、分数をかける式の意味を考えたり説明したりしている。《観察・発言》
	2	43			
	2	44	○(分数)×(単位分数)の計算の仕方を考えることができる。	・(分数)×(単位分数)の計算の仕方	(思判表)図から見通しを立てたり、乗法の性質をもとにしたりして、計算の仕方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (知技)(分数)×(単位分数)の計算ができる。《ノート》
	3	45	○(分数)×(分数)の計算の仕方を考え、理解することができる。	・(分数)×(分数)の立式とその計算の仕方	(思判表)図から見通しを立てたり、乗法の性質をもとにしたりして、計算の仕方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (知技)(分数)×(分数)の計算の仕方を理解している。《ノート》
	4	46	○(整数)×(分数)や(帯分数)×(帯分数)の計算をすることができる。	・整数や帯分数を含む分数のかけ算	(知技)(整数)×(分数)の計算ができる。《ノート》 (知技)(帯分数)×(帯分数)の計算ができる。《ノート》
	5	47	○小数と分数が混合したかけ算の仕方を理解し、その計算ができる。	・小数と分数のかけ算、3口のかけ算	(思判表)小数と分数が混合したかけ算では、小数を分数に直せばよいことに気づいている。《発言・ノート》
②分数のかけ算を使って	6	48	○被乗数と積の大小関係を調べ、乗数の大きさによることを理解する。	・乗数と積の大きさの関係	(知技)乗数と積の大きさの関係を理解している。《観察・発言》 (思判表)乗数の大きさをもとに、積の大小関係を判断している。《ノート》
	7	49	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
	8	50	○辺の長さが分数の場合にも、面積や体積の求積公式が使えることを確かめることができる。	・辺の長さが分数値の場合の面積や体積の求積	(思判表)辺の長さが分数の場合にも求積公式が使えることを、論理立てて考えたり説明したりしている。《発言・観察》 (知技)辺の長さが分数の場合にも求積公式が使えることを理解し、適用している。《ノート》
	9	51	○分数で表された時間について理解し、それを使った問題を解くことができる。	・時間が分数で表された問題(速さ)	(知技)時間を分数で表してよいことを理解し、時間の単位換算ができる。《ノート》 (態度)分数のかけ算を適用して、問題解決しようとしている。《ノート・発言》
	10	52～53	○数量の関係が分数倍(割合)で表された場面で、分数倍(割合)や比較量を求めることができる。	・割合が分数で表された問題(第1,2用法)	(思判表)図や式を使って、2つの数量の割合を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (知技)割合が分数で表された場合の比較量や割合を求めることができる。《ノート》
	11	54	○逆数の意味を理解し、逆数を求めることができる。	・逆数の意味、分数・整数・小数の逆数の求め方 《逆数》	(知技)逆数の意味を理解している。《発言・ノート》 (知技)分数、整数、小数の逆数を求めることができる。《ノート》
	12	55	○分数の場合にも分配法則や交換法則、結合法則が成り立つことを確認し、それらを適用して工夫して計算することができる。	・分数の計算の交換法則、結合法則、分配法則	(態度)必要性に気づき、分数の場合にも計算法則が成り立つかどうかを調べようとしている。《ノート》 (知技)計算法則を適用して、手際よく分数の計算をすることができる。《ノート》

学びのまとめ	13	56~57	○学習内容の理解を確認する。	・評価とふりかえり、活用問題	
--------	----	-------	----------------	----------------	--

5 分数÷分数

目 標					指導時数・時期
○ 分数でわる計算について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して分数のわり算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。					11時間 2学期制：6月中旬～6月下旬 3学期制：6月中旬～6月下旬
評 価					
(知)・分数でわる計算の意味を十分に理解し、計算することができる。 (思)・分数でわる計算の意味や仕方を、筋道立てて考えることができる。 (態)・分数でわる計算に進んで取り組もうとしている。また、分数のわり算を活用して、いろいろな問題を解決しようとする。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	一	252	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「小数のわり算」 ・6年「分数×分数」	
(課題設定) ①分数でわる計算	1	58	○分数でわるわり算について考えていくという単元の課題をつかむ。 ○(分数)÷(単位分数)の場面を式に表し、除法の意味について考え、理解することができる。	・既習のふりかえりと分数でわる学習の動機づけ ・(分数)÷(単位分数)の立式とその根拠	(態度)小数でわる計算と同じように、分数でわる式の意味を考えようとしている。《発言・観察》 (思判表)図を用いるなどして数量の関係に着目し、分数でわる式の意味を考えたり説明したりしている。《観察・発言》
	2	59	○(分数)÷(単位分数)の計算の仕方を考えることができる。	・(分数)÷(単位分数)の計算の仕方	(思判表)除法の性質をもとにして、計算の仕方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (知技)(分数)÷(帶分数)の計算できる。《ノート》
	3	60	○(分数)÷(分数)の計算の仕方を考え、理解することができる。	・(分数)÷(分数)の立式とその計算の仕方	(思判表)除法の性質をもとにして、計算の仕方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (知技)(分数)÷(分数)の計算の仕方を理解している。《ノート》
	4	61	○(分数)÷(分数)や(整数)÷(分数)の計算をすることができる。	・整数や帶分数を含む分数のわり算	(知技)(帶分数)÷(分数)の計算ができる。《ノート》 (知技)(整数)÷(分数)の計算ができる。《ノート》
	5	62	○小数と分数が混合したかけ算の仕方を理解し、その計算ができる。	・小数と分数のわり算、3口や乗除混合の計算	(知技)小数を分数に直して、乗除計算ができる。《発言・ノート》
	6	63	○被除数と商の大小関係を調べ、除数の大きさによることを理解する。	・除数と商の大きさの関係	(知技)除数と商の大きさの関係を理解している。《観察・発言》 (思判表)除数の大きさをもとに、商の大小関係を判断している。《ノート》
●練習	7	64	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
②分数のわり算を使って	8	65	○時間や道のりが分数で表された速さに関する問題を解くことができる。	・時間や道のりが分数で表された問題(速さ)	(態度)分数のわり算を適用して、問題解決しようとしている。《ノート・発言》
	9	66	○数量が分数で表された場面で、割合を求めることができる。	・割合が分数で表された問題(第1用法)	(思判表)図や式を使って、2つの数量の割合を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (知技)数量が分数で表された場合の割合を求めるができる。《ノート》
	10	67	○割合や数量が分数で表された場面で、基準量を求めることができる。	・割合が分数で表された問題(第3用法) ・コラム「文と図と式」	(思判表)図や式を使って、2つの数量の割合を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》 (知技)割合や数量が分数で表された場合の基準量を求めるができる。《ノート》
学びのまとめ	11	68~69	○学習内容の理解を確認する。	・評価とふりかえり、活用問題	

6 資料の調べ方

目 標					指導時数・時期
○ 資料のちらばりについて、ドットプロット・度数分布表・ヒストグラムを用いた分類・整理の仕方や代表値の意味を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する力を育むとともにその方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う。					9時間 2学期制：6月下旬～7月中旬 3学期制：6月下旬～7月中旬
評 価					
(知)・ドットプロット、度数分布表やヒストグラムを使って資料を整理したり、資料から代表値を求めたりすることができる。また、統計的な問題解決の方法を理解することができる。 (思)・代表値や表・グラフをもとに適切に判断したり、集めた資料を整理するのに適切な表現方法を選択したりすることができる。また、得られた結論について多面的に考えることができる。					

(態)・代表値や表・グラフのよさや統計的な問題解決の方法を知り、身のまわりの事柄などを調べるときにそれをいかそうとする。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	一	252	○既習事項の理解を確かめる。	・3年「表とグラフ」 ・5年「平均とその利用」	
(課題設定)	1	72	○資料やそのくらべ方について考えることを通して、単元の課題をつかむ。	・資料のちらばりの考察と学習の動機づけ ・平均値や最大値、最小値を調べ、比較すること 《平均値》	(態度)いろいろな数値に着目して、資料のくらべ方を考えようとしている。《発言・観察》 (知能)平均値の意味を理解している。《発言・観察》
①資料の整理		73~74			
	2	75	○ドットプロットについて知り、それを使って資料の特徴を見いだすことができる。	・ドットプロットを用いたちらばりの考察	(知能)資料の散らばりをドットプロットに整理することができる。《ノート》 (思判表)ドットプロットを使って、資料の特徴を考えたり説明したりしている。《発言・観察》
	3	76~77	○ドットプロットの考察を通して、中央値や最頻値の意味を理解し、それを使って資料の特徴を見いだすことができる。	・代表値の意味とその比較 ・コラム「目的にあわせた代表値の利用」 《中央値、最頻値》	(知能)中央値、最頻値の意味を理解している。《発言・観察》 (態度)代表値を調べることの意義に気づき、代表値から資料の特徴をとらえようとしている。《発言・観察》
②ちらばりのようすを表す表・グラフ	4	78~79	○度数分布表について知り、それを使って資料の特徴を見いだすことができる。	・度数分布表を用いたちらばりの考察 ・コラム「度数分布表・度数」 《階級》	(知能)資料の散らばりを度数分布表に整理することができる。《ノート》 (思判表)度数分布表を使って、資料の特徴を考えたり説明したりしている。《発言・観察》
	5	80~81	○度数分布表をもとに、ヒストグラムをかくことができる。	・ヒストグラムに整理すること 《ヒストグラム》	(知能)資料の散らばりをヒストグラムに整理することができる。《ノート》
	6	82~83	○複数のグラフから情報を適切によみとることができる。	・経年変化のヒストグラム、複数のグラフ関連づけて考察すること ・身のまわりのヒストグラム	(思判表)複数のグラフを関連づけて、どのようなことがわかるかを考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
③資料の調べ方を使って	7	84~85	○統計的な問題解決の方法について知り、身のまわりの課題解決にいかそうとする。	・統計的な問題解決の方法	(態度)課題意識をもって、一連の統計的な問題解決の方法について深く知ろうとしている。《観察・発言》
8					
学びのまとめ	9	86~87	○学習内容の理解を確認する。	・評価とふりかえり	

活 わくわく算数ひろば					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
●どんな計算になるのかな	1	88~89	○根拠にもとづいて、分数のかけ算やわり算の演算決定をすることができる。	・分数の乗除計算の演算決定	(思判表)演算決定の根拠を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
●算数の自由研究	2	90~91	○「もようづくり」といった自由研究に取り組み、見通しをもって考える力や粘り強く取り組む態度を伸ばす。	・身のまわりにある模様づくり(円を活用した作図) ・自由研究の進め方	(態度)模様づくりに意欲的に取り組み、作図の工夫の仕方を見つけようとしている。《観察・発言》 (思判表)見通しをもちながら、模様づくりの仕方を考えている。《観察》

* 復習					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
	1	92~93	○既習事項の確認と持続	・復習	

7 円の面積					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	一	253	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「円と正多角形」	
(課題設定)	1	94	○円の面積の求め方を調べていくと	・既習の平面図形の面積をふりかえ	(態度)円のおよその面積を、正方形を

	95	いう単元の課題をつかむ。 ○正方形の面積を利用して、円のおよその面積を見当づける。	ることによる円の面積の学習の動機づけ ・正方形で挟み込んでの円の面積の見当づけ	用いて見当づけようとしている。 《観察・発言》	
2	96~97	○方眼を利用して、円のおよその面積を見積もる。	・方眼を利用した円の面積の見当づけ	(思判表)円周上にある方眼をどのように処理すればいいかを考えて見積もっている。《観察・ノート》	
3	98~99	○円の面積の求め方を考え、求積公式を導く。	・円の面積の求め方と求積公式	(思判表)円を変形してできた形を長方形ととらえて、円の求積公式を考えている。《ノート・発言》 (知技)公式を使って、円の面積を求めることができる。《ノート》	
4	100~101	○円弧を含む複合図形の面積の求め方を考える。	・円弧を含む複合図形の面積の求め方	(思判表)円弧を含む複合図形の面積の求め方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》	
学びのまとめ	5	102~103	○学習内容の理解を確認する。	・評価とふりかえり	

8 立体の体積

目 標				指導時数・時期
○ 柱体の体積について、その求め方や公式を考えたり説明したりすることを通して、体積を求めることができるようにしたり立体図形の見方・考え方を深めたりとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				5時間 2学期制：9月上旬～9月中旬 3学期制：9月中旬～9月下旬
評 価				
(知)・柱体の体積の求め方とその公式を理解し、公式を使って柱体の体積を求めたり、複合図形の体積を求めたりすることができる。				
(思)・直方体の体積の求め方をもとに、角柱や円柱の体積の求め方やその公式、また、複合図形の体積の求め方を考えることができる。				
(態)・直方体の体積の学習をいかし、柱体の体積の学習に進んで取り組もうとする。				
小単元	時	ページ	目 標	学習内容
じゅんび	—	253	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「体積」「角柱と円柱」
(課題設定)	1	104	○柱体の体積の求め方を調べていくという単元の課題をつかむ。	・既習の立体図形の体積をふり返ることによる柱体の体積の学習の動機づけ
		105~106	○直方体やその半分の三角柱の体積が、(底面積)×(高さ)で求められることを理解する。	・四角柱(直方体)とその半分の三角柱の体積の求め方 《底面積》
	2	107	○三角柱の体積が(底面積)×(高さ)で求められることを理解し、それをもとに角柱の体積の求め方を考えることができる。	・角柱の体積の求め方とその公式
	3	108	○角柱の体積が(底面積)×(高さ)で求められることをもとに、円柱の体積の求め方を考えることができる。	・円柱の体積の求め方とその公式
	4	109	○複合図形を柱体ととらえて、(底面積)×(高さ)で体積を求めることができる。	・複合図形の体積の求め方
学びのまとめ	5	110~111	○学習内容の理解を確認する。	・評価とふりかえり、活用問題

9 比とその利用

目 標				指導時数・時期
○ 比について、その表し方や比の値、等しい比の意味を理解し、割合が比で表された問題を解決することを通して、割合の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。				8時間 2学期制：9月中旬～10月上旬 3学期制：9月下旬～10月上旬
評 価				
(知)・比の意味と表し方を理解し、比を用いて表したり、等しい比をみつけて比を簡単にしたりすることができる。				
(思)・比を用いて考え、問題を解決することができる。				
(態)・比のよさがわかり進んで活用しようとする。				
小単元	時	ページ	目 標	学習内容
じゅんび	—	254	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「割合」「分数」 ・6年「分数÷分数」
(課題設定)	1	112	○2つの量の大きさの割合の表し方	・混ぜた割合の表し方を考えること

①比		113	を調べていくという単元の課題をつかむ。 ○比の意味とその表し方を理解する。	による学習の動機づけ ・比を使った割合の表し方、比の意味 《比, :》	の形に表すことができる。《ノート》 (態度)身のまわりで比がどのように用いられているかに关心をもち、見つけようとしている。《観察・発言》
②等しい比	2	114~115	○比の値や比が等しいことの意味を理解し、比の値を求めたり、比が等しいかどうかを調べたりすることができる。	・比が等しいことの意味、比の値の意味 《比の値》	(知能)比の値の意味や比が等しいことの意味を理解している。《ノート・発言》
	3	116~117	○等しい比の性質について理解し、それを用いて比を簡単にすることができる。	・等しい比の性質、比を簡単にすること	(知能)等しい比の性質について理解している。《観察・発言》 (思判表)等しい比の意味や性質をもとに、比を簡単にすることを考えたり説明したりしている。《ノート・発言》
	4	118	○小数や分数を使って比を表し、それを簡単な整数の比にすることができる。	・数量が小数や分数で表されたときの比と比の値	(知能)小数の比や分数の比を簡単な整数の比にすることができる。《ノート》
●練習	5	119	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
③比を使った問題	6	120	○比と一方の値から、もう一方の値を求めることができる。	・比を使った割合の問題	(思判表)与えられた比をもとに、2つの量の関係を図や式に表して考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	7	121	○ある量をきまった比に分けたときのそれぞれの量を求めることができる。	・全体を決まった比に分ける問題	(思判表)与えられた比をもとに、全体の大きさにあたる割合をとらえて分けたときの量を求める。《発言・ノート》
学びのまとめ	8	122~123	○学習内容の理解を確認する。	・評価とふりかえり、活用問題	

思 表を使って考え方(1)

目 標					指導時数・時期
○ 文章題において、数量の関係を表に整理して条件にあう場合に着目して解法を考えることを通して、順序良く調べちょうどよい場合をみつける考え方を使って解くことができるようになるとともに、用いた表や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。					2時間 2学期制：10月上旬 3学期制：10月上旬
評 価					
(知)・表を使ってすべての場合を順序よく整理し、調べることができる。 (思)・表をもとにして、条件にあう場合を見つけたり、条件にあう場合のきまりを考えたりすることができる。 (態)・表を使うことのよさに気づき、進んですべての場合を順序よく表に整理しようとする。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
	1	124	○2つのものの組み合わせ方とその結果を表にかいて順序よく調べ、条件に合うときのきまりを見つけ、問題解決できる。	・表を使って順序よく調べ、条件に合うすべての場合を見つけて解く問題	(態度)いろいろな場合があることに気づき、順序よく考えようとしている。《発言・ノート》 (知能)表を使って順序よく調べ、きまりを見つけて解くことができる。《観察・ノート》
	2	125	○2つのものの組み合わせ方とその結果を表にかいて順序よく調べ、条件に合う場合を見つけだして問題解決できる。	・表を使って順序よく調べ、条件に合う場合を見つけて解く問題	(思判表)表を使って順序よく調べて、条件に合う場合を考えたり説明したりしている。《観察・ノート》

* 復習

小単元	時	ページ	目標	学習内容	おもな評価規準
	1	126~127	○既習事項の確認と持続	・復習	

10 図形の拡大と縮小

目 標					指導時数・時期
○ 図形の拡大・縮小について、図形を観察する活動を通して拡大・縮小の意味を理解し、拡大図・縮図の性質や作図の仕方を考えたり縮図を用いて距離を調べたりすることを通して、平面図形についての理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。					10時間 2学期制：10月中旬～11月上旬 3学期制：10月中旬～11月上旬
評 価					
(知)・図形の拡大や縮小の意味を理解し、頂点、辺、角の対応をみつけて拡大図や縮図を作図することができる。 (思)・拡大や縮小の観点から既習の基本図形の性質を考えたり、拡大図や縮図の作図を通して形や大きさのきまり方を考えたりすることができる。 (態)・身のまわりや既習の図形の見方に关心をもち、進んで拡大図や縮図の性質調べや作図などに取り組もうとする。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	一	254	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「合同な図形」	

(課題設定)	1	128~129	○方眼上にかかれた形の関係を考察することを通して拡大・縮小の意味を理解し、単元の課題をつかむ。	・図形の拡大、縮小の意味をとらえることと学習の動機づけ	(態度)形が同じかどうかに着目して、形を比べる活動に取り組もうとしている。《観察》 (知技)拡大、縮小することの意味を理解している。《発言・観察》
①拡大図と縮図	2	130~131	○形が同じ 2 つの図形の直線、角の対応を調べ、対応する直線の長さや角の大きさの関係を理解する。	・拡大図、縮図の意味とその性質 《拡大図、縮図》	(知技)対応する頂点、辺、角を見つけ、大きさを調べることができる。《ノート》 (思判表)対応する辺の比や角の大きさの関係に着目し、2 つの三角形の形が同じかどうかを考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
②拡大図と縮図のかき方	3	132~133	○方眼を使って、図形の拡大図、縮図をかくことができる。	・方眼紙を使った拡大図、縮図のかき方	(知技)方眼の目の大きさを利用して、拡大図や縮図をかくことができる。《ノート・観察》
	4	134	○合同な三角形のかき方をもとに、三角形の拡大図、縮図のかき方を考えることができる。	・三角形の拡大図、縮図の作図	(思判表)合同な三角形のかき方をもとに、三角形の拡大図、縮図のかき方を考えたり説明したりしている。《ノート・発言》 (知技)三角形の拡大図、縮図をかくことができる。《ノート》
	5	135	○三角形の拡大図、縮図のかき方をもとにして、四角形の拡大図、縮図のかき方を考えることができる。	・四角形の拡大図、縮図の作図	(思判表)三角形の拡大図、縮図のかき方をもとに、四角形の拡大図、縮図のかき方を考えたり説明したりしている。《ノート・発言》
	6	136~137	○1 つの点を中心にして、拡大図、縮図をかくことができる。	・1 つの点を中心とした拡大図、縮図のかき方	(思判表)1 つの点を中心とするかき方は、角の大きさが変わらないことを利用していることに気づいている。《発言・ノート》 (知技)1 つの点を中心にして、拡大図、縮図をかくことができる。《ノート》
	7	138	○形が同じかどうかの観点から既習の図形をとらえ直し、拡大、縮小の関係にあるかを考える。	・基本図形における拡大、縮小の関係の考察	(態度)既習の図形の関係に关心をもち、進んで形が同じかどうかを調べようとしている。《発言・観察》
●練習	8	139	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
③縮図の利用	9	140~141	○縮図を利用して、直接測定できない 2 点間の距離を求めることができる。	・縮図を利用した測定	(知技)縮図を利用した 2 点間の距離の求め方を理解している。《観察・ノート》
学びのまとめ	10	142~143	○学習内容の理解を確認する。	・評価とふりかえり、活用問題	

11 およその形と大きさ					
目 標					指導時数・時期
○ 面積や体積の概測について、ものの概形のとらえ方を理解し、そのおよその面積や体積の求め方を考えたり説明したりすることを通して、ものの形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。					2 時間 2 学期制：11 月上旬 3 学期制：11 月上旬
			評 価		
(知)・身のまわりの物の概形をとらえて、そのおよその面積や体積を手際よく求める方法を理解し、概測することができる。					
(思)・身のまわりの物の概形を考えたり、そのおよその面積や体積の求め方を考えたりすることができる。					
(態)・目的にあわせて身のまわりの物の概形をとらえようしたり、概測のよさを知って活用しようしたりする。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
じゅんび	一	254	○既習事項の理解を確かめる。	・5 年「面積」 ・6 年「立体の体積」	
(課題設定)	1	144	○概形をとらえて、およその面積を求めることができる。	・概測の学習の動機づけ ・平面的に概形をとらえて面積を概測すること	(態度)およその面積の求め方に关心をもち、よい方法を考えようとしている。《観察・発言》 (思判表)およその面積を求めるのに、求積公式がわかる图形として概形をとらえている。《観察・ノート》
		145			
	2	146~147	○概形をとらえて、およその体積を求めることができる。	・立体的に概形をとらえて体積を概測すること	(知技)求積公式がわかる图形として概形をとらえ、体積を求めることができる。《ノート》

12 比例と反比例					
目 標					指導時数・時期
○ 伴って変わる 2 つの数量について、比例や反比例の意味を理解し、その変化の様子や関係を式、表、グラフを用いて調べたり考えたりすることを通して、関数的な見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。					17 時間 2 学期制：11 月上旬～12 月上旬 3 学期制：11 月上旬～12 月上旬

評価					
小単元	時	ページ	目標	学習内容	
(知)	・比例や反比例の意味や性質を理解し、比例や反比例の関係を、式や表、グラフに表すことができる。				
(思)	・数量の変わり方や関係に着目して比例や反比例する事象について考えたり、比例関係を利用して問題を解決したりすることができる。				
(態)	・身のまわりの伴って変わる2つの数量が比例や反比例の関係にあるかを進んで調べようとしたり、また、比例の関係を利用して身のまわりの問題を解決しようとしたりする。				
じゅんび	—	255	○既習事項の理解を確かめる。	・6年「文字と式」	
(課題設定)	1	148～149	○いろいろな伴って変わる2つの数量の関係を調べることを通して、単元の課題をつかむ。	・伴って変わる2つの数量を見つけ、変わり方を比較することによる学習の動機づけ	(態度)変わり方の違いに気づき、関心をもって伴って変わる2つの数量の関係を調べようとしている。《発言・観察》
①比例		150	○比例する2量の変化を詳しく調べ、比例の意味と性質について理解することができる。	・比例の意味 《比例する》	(知能)表を横にみてxとyの変わり方を順や逆にとらえ、比例を理解している。《発言・ノート》
	2	151	○比例する2量の関係を調べ、2量の比が一定であることを理解する。	・比例の性質(商一定)	(知能)表を縦にみてxとyの比が一定であることを理解している。《発言・ノート》
	3	152	○伴って変わる2つの数量が比例しているかどうかを判断し、そのわけを説明することができる。	・比例するかどうかの判断、身のまわりの比例する2つの量	(思判表)比例の定義や性質をもとに、伴って変わる2つの数量が比例しているかどうかを考えたり説明したりしている。《ノート・発言》
	4	153	○比例する2量の関係を式に表すことができる。	・比例の関係を式に表すこと	(知能)さまたった数を求め、比例する2量の関係を式に表すことができる。《発言・ノート》
	5	154～156	○比例の式をもとにグラフをかき、その特徴を理解する。	・比例の関係をグラフに表すこと	(知能)比例の式から対応するxとyの値の組を求め、グラフに表すことができる。《観察・ノート》 (思判表)比例のグラフの特徴をとらえたり説明したりしている。《発言・ノート》
	6	157	○比例する2量の関係を、式に表したりグラフに表したりすることができる。	・比例関係を式に表し、グラフにかくこと	(態度)比例のグラフの特徴をいかして、比例の式からグラフに表そうとしている。《観察・ノート》
	7	158～159	○比例のグラフをよみ取ることができる。	・比例のグラフのよみとり(速さ)	(知能)グラフの特徴をとらえて、2量が比例していることや値の対応をよみとることができる。《発言・ノート》 (思判表)比例していることをもとに、グラフにない部分について考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	8	160～161	○伴って変わる2量をみつけ、表、式、グラフを使って変化や関係をとらえ、比例しているかどうかを判断することができる。	・表、式、グラフを使った比例関係の考察	(思判表)伴って変わる2量の変化や関係を、表、式、グラフを使って考察し、比例しているかどうかを判断したり説明したりしている。《発言・ノート》
●練習	9	162～163	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
②比例を使って	10	164～165	○比例関係を利用して、工夫して全体のおよその数を求めることができる。	・比例関係を利用して解く問題	(思判表)枚数などを調べるときに、比例関係に着目すると手際よく調べられることに気づいている。《発言・ノート》
	11	166～167	○2本の比例のグラフから、いろいろな事柄をよみ取ることができる。	・2本の比例のグラフをよみとる問題	(思判表)変わり方の違いや対応する値の差に着目し、2本の比例のグラフからどんなことがわかるかを考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
(課題設定)	12	168	○反比例する2量の変化や関係を調べ、反比例の意味や性質を理解する。	・反比例の関係を学習する動機づけ ・反比例の意味と性質	(態度)比例のときと比べながら、表を横や縦にみて反比例する2量の変化や関係をとらえようとしている。《観察・ノート》
③反比例		169～170			(知能)表を縦にみてxとyの積が一定であることを理解している。《発言・ノート》
	13	171	○伴って変わる2つの数量が反比例しているかどうかを判断し、そのわけを説明することができる。	・反比例するかどうかの判断、身のまわりの反比例する2つの量	(思判表)反比例の定義や性質をもとに、伴って変わる2つの数量が反比例しているかどうかを考えたり説明したりしている。《ノート・発言》
	14	172	○反比例する2量の関係を式に表すことができる。	・反比例の関係を式に表すこと	(知能)さまたった数を求め、反比例する2量の関係を式に表すことができる。《発言・ノート》

	15	173～174	○反比例の式をもとにグラフをかき、その特徴を理解する。	・反比例の関係をグラフに表すこと ・コラム「曲線で表されたグラフ」	(知)反比例の式から対応するxとyの値の組を求める、グラフに表すことができる。《観察・ノート》 (思)反比例のグラフの特徴をとらえたり説明したりしている。《発言・ノート》
●練習	16	175	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
学びのまとめ	17	176～177	○学習内容の理解を確認する。	・評価とふりかえり	

思 表を使って考え方(2)

目 標				指導時数・時期
○ 文章題において、数量の変化を表に整理してその和や差に着目して解法を考えることを通して、変わり方のきまりをみつける考え方を使って解くことができるようになるとともに、用いた表や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。				2時間 2学期制：12月上旬 3学期制：12月上旬
評 価				
小単元	時	ページ	目 標	学習内容
	1	178	○2つの数量を順に変化させて、その和の変わり方のきまりをみつけて問題を解くことができる。	・変化する2つの数量の和に着目して、変わり方のきまりを見つけて解く問題
	2	179	○2つの数量を適当なところから順に変化させて、その差の変わり方のきまりをみつけて問題を解くことができる。	・変化する2つの数量の差に着目して、変わり方のきまりを見つけて解く問題

活 わくわく算数ひろば

小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
●見積もりを使って	1	180	○切り上げや切り捨てを使って結果を見積もり、判断することができる。	・切り上げや切り捨てを使った見積もり	(思)切り上げや切り捨てを使って結果を見積もり、実際の数量がそれより大きいか小さいかを判断することができる。《発言・ノート》
	2	181	○簡単に計算できるように切り上げや切り捨てを使って結果を見積もり、判断することができる。	・計算の工夫を伴う切り上げや切り捨てを使った見積もり	(思)簡単な計算で結果を見積もれるように、切り上げや切り捨ての利用の仕方を考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
●算数ラボ	3	182～183	○変数の演算子と整除の条件判定の命令を組み合わせて、ある数の倍数を見つけるプログラムをつくることができる。	・倍数を見つけるときのプログラミング	(態度)プログラムをつくることに関心をもち、いろいろ試しながら取り組んでいこうとしている。《観察・発言》 (思)倍数の性質に着目すればいろいろなプログラムがつくれることに気づき、効率のよさや汎用性の高さを考えながら取り組んでいる。《観察・発言》

* 復習

小単元	時	ページ	目標	学習内容	おもな評価規準
	1	184～185	○既習事項の確認と持続	・復習	

13 場合を順序よく整理して

目 標				指導時数・時期
○ 場合の数について、落ちや重なりのないように図や表を用いて調べたり場合を整理して考えたりすることを通して、場合の数を求めたり条件にあう場合を見つけたりすることができるようになるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				9時間 2学期制：1月中旬～1月下旬 3学期制：1月中旬～1月下旬
評 価				
(知)	・組み合わせや並べ方を順序よく整理することができる。また、落ちや重なりのないように調べるために、観点をきめたり、図や表を工夫したりして調べればよいことを理解する。			
(思)	・組み合わせや並べ方を順序よく整理し、落ちや重なりのないように調べる方法を考えることができる。また、すべての場合のうち、条件に合うものを考え、判断することができる。			
(態)	・落ちや重なりのないように調べることの重要性に気づき、観点をきめたり、図や表を工夫したりして順序よく整理しようとする。			
小単元	時	ページ	目 標	学習内容

じゅんび (課題設定)	—	255	○既習事項の理解を確かめる。	・5年「整数」	
①場合の数と調べ方	1	186	○試合の組み合わせ方を考えることを通して、場合の数について調べていくという単元の課題をつかむ。	・場合を順序よく整理することへの学習の動機づけ ・落ちや重なりのないように順序よく整理して、組み合わせ方を調べること	(態度)落ちや重なりがないように調べる方法を考えようとしている。 《観察・ノート》 (知技)図や表を使って、落ちや重なりがないように組み合わせ方を調べて場合の数を求めることができる。《発言・ノート》
		187	○いくつか選んで組み合わせるときの場合の数が何通りあるかを、順序よく整理して求めることができる。		
	2	188	○選ばないものに着目して、組み合わせ方が何通りあるかを考えることができる。	・補集合の考えが使える場合の組み合わせ	(思判表)選ぶものの組み合わせ方と選ばないものの組み合わせ方の関係に気づいている。《発言・ノート》 (知技)選ばないものの組み合わせ方を調べて、場合の数を求めることができる。《発言・ノート》
	3	189	○並べ方が何通りあるかを、順序よく整理して求めることができる。	・落ちや重なりがないように順序よく整理して、並べ方を調べること	(態度)落ちや重なりがないように調べる方法を考えようとしている。 《観察・ノート》 (知技)樹形図を使って、落ちや重なりがないように並べ方を調べて場合の数を求めることができる。《発言・ノート》
	4	190	○いくつか選んで並べるときの場合の数が何通りあるかを、順序よく整理して求めることができる。	・全体からいくつかを取り出す場合の並べ方	(思判表)組み合わせるときと並べるときの違いに気づき、調べ方を考えている。《観察・ノート》 (知技)樹形図を使って、いくつか選んで並べる並べ方を調べて場合の数を求めることができる。《発言・ノート》
●練習	5	191	○学習内容を確実に身につける。	・練習	
②いろいろな場合を考えて	6	192~193	○起こり得る場合を順序よく整理して、目的に合う場合を選ぶことができる。	・すべての場合を挙げてそれぞれの結果を調べ、条件にあうものを見つけて解く問題	(思判表)起こり得る場合を順序よく整理し、目的に合うものがどれかを考えたり説明したりしている。 《発言・ノート》
	7	194	○起こり得る場合を順序よく整理して、目的に合う場合を選ぶことができる。	・同上で、2通りの考え方で解決できる問題	(思判表)起こり得る場合を順序よく整理し、目的に合うものがどれかを考えたり説明したりしている。 《発言・ノート》
	8	195	○起こり得る場合を分類、整理して、問題を解決することができる。	・場合の重なりを分類して考える問題	(思判表)起こり得る場合の重なりに着目して、それを分類・整理する方法を考えたり説明したりしている。 《発言・ノート》
学びのまとめ	9	196~197	○学習内容の理解を確認する。	・評価とふりかえり、活用問題	

思 図を使って考えよう					
目 標				指導時数・時期	
○ 文章題において、問題場面を図に表して全体と部分の割合に着目して解法を考えることを通して、全体を1として割合を考える考え方を使って解くことができるようになるとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。				2時間 2学期制：2月上旬 3学期制：2月上旬	
評 価					
(知)・線分図を使って、全体を1としたときの割合の意味を理解することができる。 (思)・全体を1としたとき、線分図を使ってそれぞれの部分が割合でどのように表されるかを考えることができる。 (態)・全体を1として考えるよさが分かり、それを用いようとする。					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準
	1	198~199	○全体を1とし、部分の割合の和を考えて、問題を解くことができる。	・全体を1とし、部分の割合の和を考えて解く問題	(態度)問題解決のために必要な情報が何かを考え、手立てを見いだそうとしている。《発言・観察》 (知技)全体と部分の関係を線分図に表すことができる。《ノート》
	2	200~201	○全体を1とし、部分の割合の組み合わせを考えて、問題を解くことができる。	・全体を1とし、部分の割合の組み合わせを考えて解く問題	(思判表)線分図にかいて全体と部分の関係をとらえ、割合の考え方を用いて問題を解決している。《観察・ノート》

活 わくわく算数ひろば					
小単元	時	ページ	目 標	学習内容	おもな評価規準

思 すぐろく	1	202~203	○与えられた情報をもとに仮説を立て、それを検証して問題を解くことができる。	・推論を重ねて条件にあう場合を見つける問題	(態度)情報を整理し、順序立てて考えていこうとしている。《ノート・発言》 (思判表)情報をもとに仮説を立て、それが正しいといえるかを考えて問題を解決している。《ノート・発言》
●みらいへのつばさ	2	204~205	○表やグラフなどの資料から必要な情報を選択し、国際協力についての問題を解決できる。	・表やグラフなどのよみとり、情報選択 (つばさんの国際協力についてのメモ)	(知技)文章、表、グラフから問題を解くのに必要な情報を選択することができる。《発言・ノート》 (思判表)文章、表、グラフを関連づけて考えたり説明したりしている。《発言・ノート》
	3	206~207	○国際協力の課題を話しあい、課題解決に向けた計画を考える。	・国際協力の計画を立てる活動	(態度)算数で学んだことをいかして、自身の生活や地域社会のことを見直そうとしている。《観察・ノート》

* 6年のまとめ (算数パスポート)

ページ	学習内容	指導時数・時期
208~233	1 数と量 2 計算と見積もり 3 図形と量 4 変化と関係 5 データの活用 6 問題の見方・考え方 ・中学校で学ぶ「数学」の簡単なしようかい	15時間 2 学期制：2月中旬～3月中旬 3 学期制：2月中旬～3月中旬

★ ひろがる算数

ページ	学習内容	指導時数
234~248	・アート×算数 ・音楽×算数 ・スポーツ×算数 ・古生物×算数 ・おかし×算数	時間配当なし

★ 学びのサポート

ページ	学習内容	指導時数
250~255	・じゅんび	
256~275	・もっと練習	
276~297	・算数資料集	

※巻末にある「学びのサポート」は、少人数学習や自学自習など柔軟な扱いができるように時間配当をしていません。

すべての児童が一律に学習する必要はありません。